2026年6月1日

関係各位

薬局だより

薬剤部　医薬品情報管理

定例薬事委員会において新規採用薬品等を下記のように決定いたしました。

1) 新規採用薬品

・全科新規採用薬品

なし

・診療科限定新規採用薬品

なし

2) 診療科限定追加薬品：下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
産婦人科	アブリスボ筋注用	RSV-A融合前Fタンパク質 0.06mg RSV-B融合前Fタンパク質 0.06mg	ファイザー	＜妊婦への能動免疫による新生児及び乳児におけるRSウイルスを原因とする下気道疾患の予防＞ 抗原製剤を専用溶解用液全量で溶解後、妊娠24～36週の妊婦に、1回0.5mLを筋肉内に接種する。 ＜60歳以上の者におけるRSウイルスによる感染症の予防＞ 抗原製剤を専用溶解用液全量で溶解後、1回0.5mLを筋肉内に接種する。	○妊婦への能動免疫による新生児及び乳児におけるRSウイルスを原因とする下気道疾患の予防 ○60歳以上の者におけるRSウイルスによる感染症の予防
消化器内科 脊椎脊髄外科	ジクトルテープ75mg （薬価：153.10/枚）	1枚中 日局ジクロフェナクナトリウム75mg	久光製薬	＜各種がんにおける鎮痛＞ 通常、成人に対し、1日1回、2枚（ジクロフェナクナトリウムとして150mg）を胸部、腹部、上腕部、背部、腰部又は大腿部に貼付し、1日（約24時間）毎に貼り替える。なお、症状や状態により1日3枚（ジクロフェナクナトリウムとして225mg）に増量できる。 ＜腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎における鎮痛・消炎＞ 通常、成人に対し、1日1回、1枚（ジクロフェナクナトリウムとして75mg）又は2枚（ジクロフェナクナトリウムとして150mg）を胸部、腹部、上腕部、背部、腰部又は大腿部に貼付し、1日（約24時間）毎に貼り替える。	○各種がんにおける鎮痛 ○腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎における鎮痛・消炎 →6科となり、全科採用とする
小児外科	オリブ油 （薬価：28/10mL）	1mL中 日局　オリブ油 1mL	久光製薬	軟膏剤、硬膏剤、リニメント剤などの基剤として調剤に用いる。 皮膚・粘膜の保護剤として用いる。	○軟膏剤、硬膏剤、リニメント剤などの基剤として調剤に用いる。 ○皮膚・粘膜の保護剤として用いる。

3) 患者限定新規採用薬品：下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
呼吸器内科	ハイイータン錠50mg（薬価：4,356.60/錠）	（1錠中） グマロンチニブ水和物51.95mg（グマロンチニブとして50mg）	大鵬薬品工業	通常、成人にはグマロンチニブとして1回300mgを1日1回空腹時に経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。	MET遺伝子エクソン14スキッピング変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
呼吸器内科	エキシデンサー皮下注100mgシリンジ（薬価：1,143,284/筒）	1mL中 デペモキマブ（遺伝子組換え） 100mg	GSK	＜気管支喘息＞ 通常、成人及び12歳以上の小児にはデペモキマブ（遺伝子組換え）として1回100mgを26週間ごとに皮下注射する。 ＜鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎＞ 通常、成人にはデペモキマブ（遺伝子組換え）として1回100mgを26週間ごとに皮下注射する。	○気管支喘息（既存治療によっても喘息症状をコントロールできない重症又は難治の患者に限る） ○鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎（既存治療で効果不十分な患者に限る）
小児科	フィコンパ点滴静注用2mg（薬価：1,962/瓶）	1ﾊﾞｲｱﾙ中 ペランパネル水和物2.16mg（ペランパネルとして2.08mg）	エーザイ	・ペランパネルの経口投与から本剤に切り替える場合 ＜部分発作（二次性全般化発作を含む）に用いる場合＞ [単剤療法][併用療法] 通常、成人及び4歳以上の小児にはペランパネル経口投与と同じ1日用量を、1日1回30分以上かけて点滴静脈内投与する。 ただし、4歳以上12歳未満の小児への投与時間は90分とする。 ＜強直間代発作に用いる場合＞ [併用療法] 通常、成人及び12歳以上の小児にはペランパネル経口投与と同じ1日用量を、1日1回30分以上かけて点滴静脈内投与する。 ・上記以外の用法用量については添付文書参照	一時的に経口投与ができない患者における、下記の治療に対するペランパネル経口製剤の代替療法 ○てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む） ○他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法
小児科	ルセフィ錠2.5mg（薬価：126.70/錠）	1錠中　ルセオグリフロジンとして2.5mg	大正製薬	通常、成人及び10歳以上の小児にはルセオグリフロジンとして2.5mgを1日1回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら5mg1日1回に増量することができる。	2型糖尿病
小児外科	ハイカリック液－1号（薬価531/700mL1袋）	1袋中 ブドウ糖120g 酢酸カリウム2.47g グルコン酸カルシウム水和物1.91g 硫酸マグネシウム水和物1.24g リン酸二水素カリウム0.66g 硫酸亜鉛水和物3.0mg その他電解質等	テルモ	本剤700mLに対して10%又は12%アミノ酸注射液を200～300mLの割合で加えてよく混合し、経中心静脈輸液療法の開始液とする。通常成人1日1800～2000mLの開始液を24時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。 なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。	高カロリー輸液用基本液

4) 診療科限定再審議薬品(本採用結果)

・タービー皮下注3mg/40mg:診療科限定のままで(血液・腫瘍内科)

・ブリィビアクト錠25mg:患者限定へ

5) 販売/供給中止・回収・限定出荷等に伴う変更 (在庫なくなり次第変更予定)

① 販売中止に伴う変更

(変更前薬品名)		(変更後薬品名)
ブスコパン錠10mg	→	**ブチルスコポラミン臭化物錠10mg「ツルハラ」**

② 供給困難に伴う変更

(変更前薬品名)		(変更後薬品名)
アミオダロン塩酸塩錠100mg「サンド」	→	**アミオダロン塩酸塩錠100mg「サワイ」**
ジェービックV(日本脳炎ワクチン)	→	**エンセバック皮下注用**

6) 削除薬品(在庫なくなり次第削除予定)

なし

7) 採用区分/剤型変更等(在庫なくなり次第変更予定)

① 剤型変更/剤型追加/規格変更/規格追加

(1)規格追加

・【科】ケレンディア錠20mg

② 採用区分変更

(1)科採用→患者限定へ変更

・ブリィビアクト錠25mg

8) 後発品への変更(在庫なくなり次第変更予定)

・セレスタミン配合錠→エンペラシン配合錠